

うまい!

# 岩船米づくり情報 No. 8

平成 28 年 8 月  
岩船農業振興協議会  
村上農業普及指導センター  
JA にいがた岩船

人も、イネも

あなたの足跡が、水管理のバロメーター

## 十分な水分・酸素供給で暑い夏を乗り切ろう!

### ◇8月1日現在の生育状況【普及センター調査ほコシヒカリBL】

調査地点	田植日	草丈 (cm、%)			茎数 (本/m <sup>2</sup> 、%)			葉色 (SPAD)			予想出穂期
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	
山北/大 毎	5/8	91	107	108	438	115	118	33.4	-0.1	+2.9	8月8日
朝日/川 端	5/12	88	102	102	366	92	103	31.2	-0.8	-3.6	8月8日
村上/鑄物師	5/19	77	91	96	346	88	92	38.9	+5.9	+6.0	8月9日
神林/牛 屋	5/10	92	114	110	473	131	124	33.9	+0.4	-0.6	8月7日
荒川/名 割	5/8	85	99	102	340	89	78	32.1	-0.9	-1.2	8月13日
関川/下 関	5/10	85	100	104	390	103	76	34.1	+0.6	+0.8	8月13日
平均	5/11	87	103	105	395	104	93	33.5	+0.5	-0.3	8月9日

※平均は、6地点の水稲作付面積に応じた加重平均

- 草丈：並 ●茎数：並（一部やや多） ●葉色：並
- コシヒカリの出穂期は、地域の状況条件等により差がみられます。

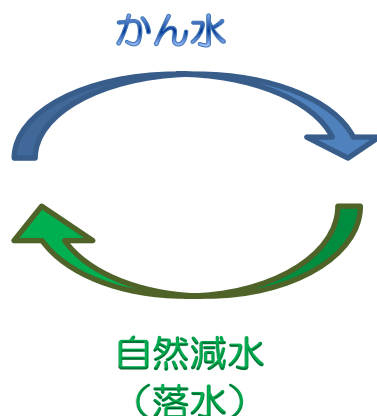
- 7月22日に梅雨明けしました（平年より2日早く、前年より3日早い）。
- 梅雨明け以降、晴れて暑い日が多くなっています。
- 8月は、平年より気温が高いと予想されています。

### ◇今後の栽培管理のポイント ～実り(品質)を良くするために!～

#### 1 出穂 25 日後までの「飽水管理」で根の活力維持を!

- フェーン現象やダシ風が予想される場合は、あらかじめ湛水して稲を保護しましょう。
- 出穂 25 日後頃（収穫の 2 週間前）までの飽水管理を行い、稲が水分を十分に吸収し、登熟向上が図られるように心がけましょう。
- ※飽水管理とは?・・・水尻を止め、3～4日に1度水が無くなってきたらかん水する方法です。
- 輪番給水地域では、通水日を確認し、効率的な水管理に努めましょう。

飽水管理 …… 【足跡に水がなくなったらかん水】



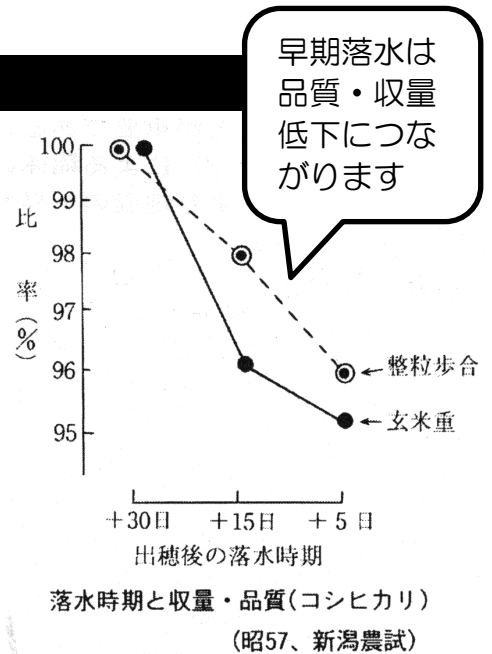
## 2 大切な根を長持ちさせるための注意点

- ☆高温時の長期間の湛水は、根腐れの原因となるので、時々水の交換（酸素供給）を行いましょ。
- ☆また湛水状態では夜間の地温が気温より高くなり、高温時は根の機能低下を引き起こすので、夜間落水・早朝かん水などの手段により、地温を下げましょ。

## 3 最終通水日を確認し、適切な水管理を！

- ☆用水が切れる前に確実にかん水して、登熟後半の水分を確保ましょ。
- ☆落水時期は、出穂後25日が目安ですが、砂質水田や、暑い日が続きほ場の過乾燥が懸念される場合は、可能な限り（出穂後30日位まで）延長してください。

※水不足が心配される場合は、最終通水日に水を貯めたり、暗渠排水の水こうの開放を遅くするなどの工夫も効果的です。



## 4 カメムシ類・いもち病防除の徹底を！

### (1) カメムシ類の防除

県病害虫防除所から7月下旬のカスミカメムシ類の畦畔雑草地及び水田内発生量は近年並みに多いと発表されています。

気象予報からも、カメムシにとっては繁殖に絶好の条件が揃っているため、出穂後の薬剤防除の徹底（粉剤・液剤2回、粒剤は1回）で、被害を最小限に抑えましょ。

カメムシ類の防除（粉剤、液剤の場合）

回数	めやす	カメムシの成長段階
1回目	出穂期の7～10日後	成虫の本田侵入期
2回目	1回目から7～10日後	幼虫のふ化終期



〈斑点米が多発生の懸念〉

### (2) いもち病

本年は、「葉いもち」の発生が目立っています。「葉いもち」が発生したほ場は、カメムシと併せて「穂いもち」防除を実施ましょ。

～水不足が心配されます。地域全体で用水を大切に使いましょ～

※コシヒカリで葉色が極端に淡い場合は、JAや普及センターに相談を！